

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	初石公民館施設管理事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	06	03	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	初石公民館利用者	意図	安全で快適に利用できる状態にする。
事業内容	初石公民館利用者が施設を快適に利用できるよう、施設の維持管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和54年の開館以来、定期的な整備を実施しているが、老朽化に伴い臨時的な補修が増加している。なお、平成20年から館内には、「軽食喫茶キッチンよつば」もあり、利用者に親しまれている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	施設の稼働率	57.20				53.70
②	利用者件数の増減率	-3.40	-5.40	1.30	%	↑↑↑	当該年度/前年度-1	
③	利用者人数の増減率	.60	-7.80	.30	%	↑↑↑	当該年度/前年度-1	
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・安心して快適に利用できるようにする。 ・実施計画に沿った改修を進めていくとともに、小破修繕を行い施設の整備を実施する。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,891,753	2,483,226	2,117,778				
事業費(b)(円)		509,753	500,026	477,728				
うち一般財源		509,753	500,026	477,728				
職員給与費(c)(円)		1,382,000	1,983,200	1,640,050				
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.17				
人役・再任用(人)			0.20	0.20				
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	利用者にとって快適な施設の整備に取り組む。	③取組の課題	指定管理者と連絡を密にし、情報を共有し、施設の老朽化に対応するため、緊急性の高いものから優先して修繕を行っていく必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	定期的に指定管理者の連絡会議を実施し、施設管理及び運営上の課題を協議、情報の共有に努めた。	④今後の改善計画	実施計画に沿って、建物及び設備の保全計画を進めていくと同時に、FMの指摘事項を精査するなど、改善計画を作成し、適正に整備を進めていく。